

インバウンド本格再開特別企画 貸切バス利用・弾丸下見会

## 箱根スペシャル!

2023年7月11日(火) (小田原駅発着) 終了報告

“弾丸下見会”はガイド同士で貸切バスを仕立てて、経験や情報を共有しながら、一緒に一気に下見をしようという企画です。車窓や移動の距離感を体感するとともに、貸切バスならではのコースを設定。参加者それぞれの目的に応じて下見するもよし、「案内人」が一例として共有する工夫や経験を聞いて参考にすることもよしの下見会です。



〈旧東海道杉並木〉

参加者27名(会員18名、非会員9名)と案内役1名(伊藤淳子正会員)の28名が小田原駅西口のロータリーから貸切バスに乗り込んで出発しました。内18名は、前日の「富士山スペシャル!」と二日続けての参加でした。芦ノ湖周辺だけではなく、さまざまな箱根観光の形に対応できるように、土地勘を養いつつ下見する盛りだくさんの「箱根スペシャル!」です。

箱根観光のゲートウェイの一つである小田原からまずは国道1号線で湯本、宮ノ下と上り、強羅方面へ。



最初の下見は彫刻の森美術館です。まだ宿泊客しか動かない時間帯の美術館は人も少なく、気持ち良く散策するうちに、青空と山の緑と共に作品を楽しむコンセプトが自然と伝わってきます。好きな作品や写真スポットは見つかったでしょうか。足湯横のカフェの建物2階には、飲食もできる休憩スペースができていました。



〈早雲山駅(窓の外に大文字)〉

2020年にリニューアルした早雲山駅は、駅舎外にも駅舎内2階にも展望テラスがあり、箱根の外輪山や強羅の街、天気が良ければ相模湾まで望めます。(駅舎内のテラスには足湯も!)

明星ヶ岳の大文字を眺めながら箱根ロープウェイで大涌谷へ。

富士山はいつどの辺りから見えてくるのか、こちらは青空でも山の向こうの天気はいかに!?

早雲山から上り勾配できたロープウェイが尾根を越えて平行になった途端、目の前に噴煙地、眼下には深い谷、そして右手に浮かぶような富士山。名物の風景を見ることができました。箱根温泉供給株式会社の蒸気井、地滑り対策、火山性ガスを含む噴煙のため立ち枯れたような樹木、赤茶けた山肌・・・独特の景観で知られ、箱根随一の人気スポットでもある大涌谷。今日は噴煙少なめで、硫黄の匂いもほどほどですが、2015年の小規模噴火による規制が解除された後も、火山ガスの健康への影響などに留意するよう呼びかけられています。

各自で下見の時間を取って、店舗や軽食コーナー、ジオミュージアム、富士山の展望ポイントなどをチェック。玉子の高騰で黒たまごは4個500円に値上がりしていました。自然研究路は2015年以来閉鎖中（予約制の引率入場を人数限定で実施中）のため以前ほど散策時間を取らなくなっていること、真っ白で何も見えないことも多いこと、風が吹き抜けるため季節によっては上着が要ることなども確認しました。



バスは大涌谷に回送せずに、今年4月から区間料金を廃止して片道・往復それぞれの均一料金となった箱根ロープウェイでそのまま桃源台港へ。強羅側から芦ノ湖側の間にはカルデラ内の山があることをロープウェイで登って下って実感しました。

芦ノ湖北側の海賊船の桃源台港、芦ノ湖遊覧船の湖尻港（休港中）を確認して、バスで箱根園へ。箱根駒ヶ岳ロープウェイは残念ながら整備運休中ですが、箱根ロープウェイとの比較、大涌谷と駒ヶ岳山上の眺めや楽しみ方の違いを比較しつつ霧のかかり始めた山を見上げます。東京より遅く咲く湖畔の一本桜、ちょうど陸に上がってきた水陸両用の忍者バスを見て、箱根園から芦ノ湖遊覧船に乗りました。



屋内船室でも大きなガラス窓がある芦ノ湖遊覧船から、関所跡港の復元関所、恩賜箱根公園、箱根神社の赤い鳥居を眺めつつ元箱根港に到着する頃には辺りに霧がたちこめて涼しくなってきました。まだ視界はあります。夏の暑い日にはよく霧が出てくるとのこと。

杉木立に囲まれた石段や、矢立の杉、苔など趣ある箱根神社は、今はパワースポットとしても人気で、湖中の鳥居（平和の鳥居）前には写真を撮りたい人の列ができていました。



箱根神社を訪れた後は元箱根で短いランチ休憩。芦ノ湖遊覧船の乗り場と海賊船の乗り場の間の飲食店や軽食の選択肢をチェックする機会としました。成川美術館や「鳥居と富士山」の写真スポット、ATMもあるセブンイレブンを確認して元箱根から箱根町・関所方面へと今度は徒歩で下見を続けます。



江戸から京に向けて、旧東海道杉並木を散策し、そのまま関所をめざします。杉並木の部分は概ね平坦ですが一部はぬかるんでいました。



関所資料館と関所跡を短時間で見学して無事に関所を通過。関所跡の有料展示部分には役所としての機能の他、当時の生活空間も含まれて興味深いものの、日本人とは背景知識の異なる訪日客に時間に応じてご案内するにはコツが要りそうです。

関所をぬけてすぐ、賛助会員でもある丸山物産を訪問して箱根細工の実演と解説をお願いしました。からくり細工で知られる丸山物産では、伝統的な秘密箱の他に、かわいい新作のからくり箱の数々も披露いただきました。訪日客向けの実演解説のほか、すぐ向かいに関所からくり美術館も開設していて、雨天で屋外の観光が難しい日など、ぜひ遊びに来て下さいとのこと。



関所跡港（旅物語館）前からバスに乗り、箱根町を通過、あまり訪れる機会のない大観山展望台へ足をのびました。生憎、視界は真っ白でしたが、富士山と箱根を大きく眺める展望箇所の一つです。

最後は元箱根から旧道に入り、七曲がりを通して畑宿へ。時折、箱根新道がすぐ横に来ます。



寄せ木の里といわれる畑宿では、浜松屋に立ち寄り、さらに箱根細工について学びました。寄せ木と木象嵌、ズクとムクなど技法の違いや発展の歴史を知り、箱根細工の見方が変わったとの声も。

畑宿の名所の一つ、石畳部分が保存された旧街道は苔で思のほか滑りやすく、ちょっと怖い思いもしました。お客様への案内も慎重に。

畑宿を後にして須雲川 IC から箱根新道に乗り、一気に小田原へ。予定通りの 17 時 45 分に小田原駅に到着しました。

参加者アンケートには「普段行かない訪問地も知ることができた」「箱根の地形がわかった」「自分とは異なる視点での情報や仲間との話が役にたった」「箱根の案内に自信がついた」などの感想をいただきました。また、暑さや疲れでウトウトしたり、話を聞いているうちに集中力が切れてきたり、お客様の気分を味わえたのも貴重な経験だったことと思います。ご参加の皆様のご協力で暑い季節の下見会を無事終えることができました。また、箱根の下見会は、以下に挙げる皆様により色々な形でご厚誼を賜りました。未筆ながら感謝申し上げます。

(弾丸下見会担当)

(訪問順・敬称略)

彫刻の森美術館、箱根ロープウェイ、箱根園、芦ノ湖遊覧船、箱根町（箱根関所）、箱根丸山物産、浜松屋